



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月24日

上場会社名 栄研化学株式会社

上場取引所 東

コード番号 4549 URL <http://www.eiken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 和田 守史

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部広報課長 (氏名) 戸田 和絵

TEL 03-5846-3379

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	9,232	4.7	1,490	15.0	1,514	14.1	1,131	14.7
2019年3月期第1四半期	8,816	1.1	1,296	16.7	1,326	17.2	986	20.1

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 1,095百万円 (15.8%) 2019年3月期第1四半期 945百万円 (12.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	30.68	30.46
2019年3月期第1四半期	26.90	26.56

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	47,099	35,499	74.8	955.07
2019年3月期	47,279	35,014	73.5	942.37

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 35,224百万円 2019年3月期 34,756百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		13.00		17.00	30.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		13.00		14.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,080	2.5	2,030	20.2	2,070	20.4	1,530	22.3	41.48
通期	35,900	0.4	3,600	21.9	3,650	22.0	2,600	24.6	70.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	43,541,438 株	2019年3月期	43,541,438 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	6,659,650 株	2019年3月期	6,659,650 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	36,881,788 株	2019年3月期1Q	36,665,153 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続きました。海外経済は、全体として緩やかに回復しているものの、通商問題の動向や中国経済の先行き等によるリスクに留意が必要な状況となっております。

臨床検査薬業界におきましては、医療費抑制策により厳しい経営環境が続く、各企業はより一層のコスト競争力と積極的な海外展開が求められる状況となっております。

このような経営環境の下、当社グループは新経営構想“EIKEN ROAD MAP2019”の基本戦略に基づき中期経営計画を策定し、経営効率を高めるための基盤整備、グローバル展開の推進、国内販売の維持とシェアアップ、研究開発力の強化の4つを重点施策として、グループ全体で持続的な成長と収益性の向上に努めております。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、主力製品の便潜血検査用試薬を中心に海外向けの売上が増加し、9,232百万円（前年同期比4.7%増）となりました。

製品の種類別区分ごとの売上高では、微生物検査用試薬は、日本ベクトン・ディッキンソン(株)から導入販売していた血液培養検査用製品の販売契約終了による影響等で売上が減少し、1,124百万円（同9.8%減）となりました。尿検査用試薬は海外向け尿試験紙の売上が伸長し、769百万円（同6.1%増）となりました。免疫血清学的検査用試薬は、東ソー(株)から導入販売しているAIA関連試薬が微減となったものの、海外向け便潜血検査用試薬の売上が大きく伸び、5,476百万円（同5.6%増）となりました。生化学的検査用試薬及び器具・食品環境関連培地は、それぞれ155百万円（同3.1%減）、542百万円（同3.0%減）となりました。その他（医療機器・遺伝子関連等）は、海外向け尿検査用装置等の売上が増加したことにより、1,163百万円（同24.0%増）となりました。

海外向け売上高につきましては、便潜血検査用試薬及び尿検査用試薬・装置の売上が大きく伸び、1,803百万円（同35.1%増）となりました。

利益面では、増収による利益の増加や販売費及び一般管理費の抑制により、営業利益は1,490百万円（同15.0%増）、経常利益は1,514百万円（同14.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,131百万円（同14.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

前連結会計年度末に比べ総資産は180百万円減少、負債は666百万円減少、純資産は485百万円増加いたしました。

増減の主なものとして、資産の部では、現金及び預金が1,268百万円減少、受取手形及び売掛金が565百万円増加しております。また、野木事業所の隣接エリアを含む再構築のための整備に着手し、建設仮勘定が430百万円増加しております。負債の部では、主に機器開発費の増加により電子記録債務が344百万円増加、法人税等の支払により未払法人税等が342百万円減少、賞与の支払により賞与引当金が369百万円減少しております。純資産の部では、配当金の支払があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が504百万円増加いたしました。自己資本比率は前連結会計年度末の73.5%から74.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2019年4月25日公表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,554	6,286
受取手形及び売掛金	11,959	12,525
商品及び製品	3,551	3,566
仕掛品	1,244	1,305
原材料及び貯蔵品	1,030	1,057
その他	512	623
流動資産合計	25,852	25,365
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,137	19,094
減価償却累計額	△11,387	△11,486
建物及び構築物 (純額)	7,750	7,608
機械装置及び運搬具	6,225	6,087
減価償却累計額	△4,746	△4,687
機械装置及び運搬具 (純額)	1,479	1,400
工具、器具及び備品	3,593	3,601
減価償却累計額	△3,081	△3,133
工具、器具及び備品 (純額)	512	467
土地	996	996
リース資産	520	509
減価償却累計額	△264	△274
リース資産 (純額)	256	235
建設仮勘定	100	531
有形固定資産合計	11,095	11,238
無形固定資産		
投資その他の資産		
長期預金	5,900	5,900
その他	3,694	3,659
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	9,587	9,552
固定資産合計	21,427	21,733
資産合計	47,279	47,099

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,148	4,024
電子記録債務	2,432	2,777
未払法人税等	770	428
資産除去債務	15	15
賞与引当金	739	369
返品調整引当金	7	5
その他	2,868	2,728
流動負債合計	10,981	10,348
固定負債		
資産除去債務	33	34
その他	1,250	1,216
固定負債合計	1,284	1,250
負債合計	12,265	11,599
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,897	6,897
資本剰余金	7,935	7,935
利益剰余金	22,869	23,374
自己株式	△3,165	△3,165
株主資本合計	34,537	35,041
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51	48
為替換算調整勘定	88	39
退職給付に係る調整累計額	79	94
その他の包括利益累計額合計	219	182
新株予約権	257	275
純資産合計	35,014	35,499
負債純資産合計	47,279	47,099

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	8,816	9,232
売上原価	4,861	5,088
売上総利益	3,955	4,143
販売費及び一般管理費	2,658	2,652
営業利益	1,296	1,490
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	3	3
受取賃貸料	5	3
業務受託料	4	3
その他	20	12
営業外収益合計	35	25
営業外費用		
支払利息	1	1
為替差損	0	—
減価償却費	1	—
その他	1	0
営業外費用合計	5	2
経常利益	1,326	1,514
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	28	5
特別利益合計	28	5
特別損失		
固定資産除売却損	4	8
特別損失合計	4	8
税金等調整前四半期純利益	1,350	1,510
法人税等	364	379
四半期純利益	986	1,131
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	986	1,131

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	986	1,131
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41	△3
為替換算調整勘定	△15	△48
退職給付に係る調整額	15	15
その他の包括利益合計	△40	△36
四半期包括利益	945	1,095
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	945	1,095
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。